三鋼販東日本30日設立

建設鋼材軸に事業分割

三井物産鋼材販売（本社＝東京都江東区、犬飼啓吾社長）は30日、建設用鋼材を中心とした組織・事業を分割し、承継会社として三井物産鋼材販売東日本を設立する。三鋼販東日本の社長には、山田和令・三井物産スチール執行役員（業務本部特命事項）が就任する。30日以降、以前からの承継事業の権利義務関係は新会社に帰属する。新会社は三井物産メタルワン建材の傘下に入り、10月1日から実質的に始動し、営業活動などを行う。

分割会社である三鋼販の資本金は6億7900万円と現行通りで、売上高は約3300億円、従業員数は約200人になる予定。新会社の三鋼販東日本は資本金9800万円で設立し、売上高は約1000億円、従業員は約70人で事業を行う。

新会社の社内システムは現在整備中で、来年4月をめどに構築する。そのため、開発完了までは、三鋼販名義での手形、各種帳票を送付する。また、入出金関係についても、銀行口座の準備などが整うまで、三鋼販の口座を継続利用する。取引先に対しては、新設分割とそれに伴う業務対応のお願いなどを案内している。

三鋼販東日本は三鋼販と同一の場所に本社（東京都江東区亀戸1―5―7）を置く。承継するのは、現在の三鋼販の本店営業部第一営業室、北海道支社第二営業部、福島支店、旭川営業所、長野営業所、栃木営業所、浦安営業所と東北物流センターの事業。

理研興業など3社共同

吹払型防雪柵を開発

融雪機能で性能維持

融雪機能付き防雪柵（試作）

防風雪柵のトップメーカー、理研興業（本社＝北海道小樽市、柴尾耕三社長）は、両面発電型太陽電池メーカーのPVGソリューションズ（神奈川県横浜市）、ファブリックヒーター開発のクラレリビング（大阪府大阪市）と共同で、融雪機能を持つ吹払型防雪柵を開発した。防雪板に両面発電型太陽電池モジュールを使用、下部間隙の地面に融雪マットを設置することで、堆積された雪を溶かし、吹払型防雪柵が本来持つ性能を維持できるようにしたもの。現在、検証段階で、商品化に向け詳細の検討を進めている。

吹払型防雪柵は、防雪板で風を制御し、柵の下部間隙から加速されて吹き抜ける強風で、道路の路側や路面の雪を吹き払い、視程障害の緩和や吹き溜まり防止につなげる道路柵となる。ただ、柵の下部間隙が雪で塞がれてしまうと風が吹き抜けず、柵が持つ本来の機能を発揮できないという課題があった。

こうした中、PVGとクラレリビングなどが昨年12月から北海道旭川市のソーラー発電所で、両面発電を利用した融雪システムの実証試験を開始。これをきっかけに、3社で吹払型防雪柵の問題解決に向けた取り組みを始めた。

降雪板の太陽光モジュールにはPVGの両面発電型太陽電池セル「EarthON」を採用。両面発電のため防雪柵の設置角度60度とし、発電効率を高めた。融雪マットの電気ヒーターにはクラレリビングが開発した「CNTEC」を採用。カーボンナノチューブをコーティングした糸でつくった布状のもので、面全体が発熱するためニクロム線と比較し、約20―30%の省エネ効果がある。

理研興業では「下部空間に堆積する雪の20―25%の融雪が目標。昨今の異常気象もあり、一度に降る雪の量には変化があるが、柵周りの融雪を行い、防雪柵の効果を維持することが、北海道や東北の豪雪地域での道路交通安全につながる」と話す。また、下部空間の融雪に伴って、吹払領域を増大する「下部空間増風システム」の研究開発を進めていることも明らかにした。

購読の申し込み
0120-300091
http://www.japanmetal.com/koudoku.html

新日鉄住金・タタ製鉄

インド車板需要捕捉

新日鉄住金とインドのタタ製鉄は、自動車大国へと変貌を遂げつつあるインドの高級鋼板需要を両社の協力によって捕捉する。創業100年を迎え、40年後の自動車用鋼板製造の位置にある鉄鋼の町であり、最大の産業である製鉄所の構内にジャムシェドプール・コンティニュアス・アニアリング&プロセシング（CAPL）を建設の計画策定、その3年の新日本製鉄によるタタの製鉄所拡張計画への協力に始まる。02年にタタの冷延工場が上工程にも技術協力し、品質を確保した。広幅サイズなど自動車用鋼板製造の認証を取得し、自動車用鋼板の生産を本格化させる。母材は大半がタタ製。新日鉄住金が上工程にも技術協力し、品質を確保した。

両社の関係は1973年の新日本製鉄によるタタの製鉄所拡張計画への協力に始まる。02年にタタの冷延工場が上工程にも技術協力し、品質を確保した。

製造工程は、電解清浄などで母材の表面を処理した後に連続焼鈍炉で熱処理し、高張力鋼板の生産を本格化させる。母材は大半がタタ製。新日鉄住金が上工程にも技術協力し、品質を確保した。

従業員300人のうち、200人が工場作業。大半を新規に採用し、日本で研修させるなど技術習得を進めている。安全管理を徹底し、工場内では従業員同士が「アクシデント&ディフェクト・ゴー・ゼロ（事故と欠陥のないように）」と声を掛け合う。

従業員300人のうち、200人が工場作業。大半を新規に採用し、日本で研修させるなど技術習得を進め人派遣し、コルカタ事務所に4人、ジャムシェドプールに6人が駐在している。

インドの自動車用鋼板需要は冷延で年間100万㌧超、熱延・酸洗、亜鉛めっき鋼板含めて計200万㌧弱。うち60㌔高張力鋼は約20%を占める。すでに韓国POSCOが独自の冷延・溶融亜鉛めっき鋼板の現地製造についている。新日鉄住金は高い技術とブランド力を誇るタタとの協力で市場に攻め入る。

JCAPCPLの会長を務める野村社長は「高張力化と防錆化の動きがある。亜鉛めっき鋼板の採用が増えており、ビジネスチャンスを見つけていく」とし、溶融亜鉛めっき鋼板の現地製造については、非日系自動車が欧州などへの輸出も行っているため、高級鋼板の需要が増えている。母材の冷延を熱処理し、高い成形性を付与した鋼板を製造するJCAPCPLは、日系中心に現地系、欧米系とすべての需要家をターゲットに拡販を進める。

インドの鉄鋼メーカー場があり、低品位の鉄鉱石をどう活用するか、品質と操業が成り立つのかなど冷静にみている」（同）。

インドの鉄鋼需要は年間約8000万㌧。鉄鋼省は25年度に1億7600万㌧に増えると予測している。世界2位の人口と4位の鉄鋼需要を持つインドで新日鉄住金はクランク

新社長登場 New President

加工通じて社会貢献

三和

大森滋夫氏

今月1日に三和と関連会社の三和ステンレスセンターの社長に就任した。三和は1939年鍛造業で創業し、53年から現本社地（大阪市住之江区）で伸鉄メーカーに業種を転換したが、99年その圧延事業から撤退し、その後は鉄筋の加工事業を主力としている。

「祖父が創業し、父、母も歴代社長、杉山元保前社長（現会長）も親戚。前社長からはかねてより代替わりを言われていたので、就任は自然の流れだった」という。

主力の鉄筋加工は本社工場、鶴町工場、北恩加島倉庫の3拠点で展開、異形棒鋼とネジ節鉄筋の切断・曲げ加工だけでなく、摩擦圧接加工も行っており、直近の加工量は切断が月間1000―1500㌧、圧接加工が月間約10万本。加工については「仕事の増減は他人任せの部分が大きい。ただ、職人不足によって、工場での加工・プレハブ化のニーズが高まっており、ここ数年は防災関連の仕事も期待できる。それだけに、加工分野の裾野を広げ、数量の安定化を図りたい」との考えだ。

そのために、メーカー、商社、ゼネコンとの情報交換をより密接に行っていくとともに、日々の加工では品質・納期対応の向上に努めていく。また、土木・建築金物なども完全オーダー生産でき、関連会社ではステンレス鉄筋を在庫しているという自社の機能を生かし、鉄筋工事に関わることについてはオールラウンドで対応していく心構えだ。

「加工を通じて、鉄筋工事の省力化・省人化を実現し、社会貢献を果たしていきたい。それが当社の存在価値であり、その価値を大きくしていくことが私の使命」と目指す道にブレはない。

（天野　充造）

▽大森滋夫（おおもり・しげお）氏＝84年大阪市大・機械工学科卒、三和鍛工（現三和）に入社、同年常務。96年専務取締役、01年代表取締役専務。趣味はゴルフで、愛犬の柴犬との長時間の散歩で気分転換を図っている。「存在価値」を大事にしている。62年3月23日生まれ、大阪府出身。中・高・大学と卓球部。

日刊産業新聞 14.9.2

中国廃鋼鉄応用協会

北京で設立20周年式典

【上海支局】中国廃鋼鉄応用協会は30日に、設立20周年式典を北京で開催した。鉄スクラップの有効利用を目的に活動を進め、この20年間で鉄スクラップの供給量は世界最多と成長。協会会員数は20年間に3倍以上に増加した。式典には設立当初からの関係者や会員が多数集い、日本鉄リサイクル工業会の影島一吉会長も出席し、業界の発展を祝った。

影島一吉・鉄リサイクル工業会会長も出席

古賀オール

前期の労ねぎらう

バーベキューパーティー開く

鉄鋼商社の古賀オール（本社＝東京都中央区、古畑勝茂社長）は先月31日、東京工場（東京都江東区）で

1994年に政府局の認可を受けて立。加工の高度化や備の国産化を促進業界の発展に努めた。当初は会員数16社の大多数を鉄鋼ーカーが占めていが、大型加工業者や易商社、加工設備企業などが参加し、在の正会員は350強。95年に国際リサクル協会に加盟し、米や日本の業界団交流を深めている。

中国の鉄スクラ供給量は年々増え、年に1億6000万と世界供給の4分以上を占めた。94年8億㌧だった鉄鋼量は20年に100に達する見込み。汚染など環境問題刻化する中、協会富で環境に優しい資源を生かす取みを強化する方針。

鐵鋼販がバーベキュー大会